

種目【地図】

書名 項目	<h1>新しい地図帳</h1>	2 東書
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「地図帳の使い方」として地図記号、索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用といった基本的な地図の読み方を丁寧に解説したり、地球儀の活用の仕方を分かりやすく説明したりしている。鳥瞰図→真上からの図→地図という視点の転換から地図を理解し、活用する力が身に付くよう、工夫している。また、日本の領土・領域が実感をもって理解することができるよう、用語の説明や国土の統計を掲載するとともに、すべての地図において海洋部分も詳細に描写している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各地域の拡大図を適宜設けて、位置関係や地域相互の結びつきを調べたり、比較をしたりするなどの多面的な学習が展開できるようになっている。「資料地図・統計表」には各種の統計資料が豊富に示され、特に、日本の歴史を学びながら、同じ時代の世界の様子が捉えられるようにしている。また、国旗の取り扱いや防災、安全教育など、今日的課題への対応に関わるものが数多くあり、社会的な見方・考え方を身につけられるように工夫している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○冒頭のイラストマップでは、世界と日本の様々な事物を紹介し、児童の「地図帳で調べてみたい」という意欲を喚起し、親しみをもてるようにしている。また、多彩なキャラクターを随所に配置し、地図活用の手がかりを児童の言葉で吹き出しを使って提示し、一緒に学習できるようにしている。使用頻度の高い「さくいん」は十分なページ（10ページ）をとり、行間をあけて見やすくなっている。更にチェック欄が設けられており、調べたり活用したりした都道府県や主な名所・史跡などが分かり、主体的に学習できるように工夫されている。</p> <p><地図・資料の特徴></p> <p>○広い視野から国土を眺めることができる地図を複数配置し、日本の位置及び範囲、領土に関する問題、自然災害と防災などについて正確な理解が図れるようにしている。また、土地の高さによる色分けに加え、住宅地や商業地、田や畑、果樹園、工業地などの色分けがなされ、人々のくらしが読み取れるようになっている。資料においては、日本の歴史に関する内容の充実をはかったり、郷土愛を育む視点から、各地の伝統工芸品や名産品などを数多く取り上げたりしている。</p>	
資 料	<p>○主な歴史の舞台・建物（青い枠囲み）、世界遺産、環境問題に関わるラムサール条約や世界ジオパークの登録地などについて、個別の記号を設けている。</p> <p>○教育のICT化への対応として、インターネットを利用して学習ができるよう、Dマークを記載し、学習への興味・関心を高めるとともに家庭学習でも活用できるようにしている。</p> <p>○他教科との関連として、道徳、食育の他、国語、音楽の学習に役立つ人物の記載もされている。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○地図中の文字や記号は大きく、字体（フォント）も丸ゴシック系のユニバーサルデザイン書体で見やすく、重要な語句や文字には、文字のまわりに色が付けられなど工夫されている。</p> <p>○明るくっきりとした色遣いで、図や写真の説明文などは全て文節改行となっていて、読みやすくなるような配慮がなされ、反射を抑えた目に優しい用紙を使用している。</p> <p>○土地利用の様子や高さ、深さの地形表現は丁寧に色分けされて表現されている。</p>	
総 括	<p>○A4の判型を生かして、文字や資料が大きく、広い範囲を表示している。また、ユニバーサルデザインに配慮した色遣い、反射を抑えた用紙で見やすくなっている。ほぼ全てのページに多彩なキャラクターを登場させ、地図活用の手がかりを分かりやすく提示している。3年生からの使用を踏まえ、「地図学習」のページで地図の仕組みや約束事を分かりやすく解説している。索引にチェック欄を設けたり、日本の歴史や伝統・文化の資料の充実を図ったり等の工夫が見られる。</p>	

種目【地図】

書名 項目	<h1>新しく学ぶ小学生の地図帳</h1>	46 
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○3年生からの使用に対応し「地図のやくそく」「地図帳の使い方」など、地図帳を正しく使いこなすための技能について、丁寧に大きく扱っている(12ページ分)。方位、地図記号、距離の求め方、凡例、索引、縮尺等地図の基本的な概念を分かりやすく説明している。また、日本の領土とそのまわりの地図とともに、領域に関する模式図のほか、日本固有の領土及び東西南北端の写真と説明を掲載し、日本の領域を正しく理解できるようにしている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「地図マスターへの道」のコーナーが随所に設けられており、必要な地図帳活用の技能のほか、位置や空間的な広がりなどの「社会的な見方・考え方」が身につくようになっている。「自動車産業のさかんな愛知県」の地図は、30万分の1の縮尺で大きく見やすくなっている。また、自動車の関連工場が分かりやすく記号化されていたり、出荷の流れが矢印で表現されていたりするなど、自動車生産の流れについて思考しやすいような地図になっている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○資料図が用意されており、各国や県の様子がグラフや表をもとに分かりやすく整理されている。日本と外国の結びつきなど、日常生活に関係の深い事例が提示されており、児童が興味をもって学習に取り組むことができるようになっている。索引では、地名の前に、地名の種類を表す記号が示され、調べやすいものとなっている。また、47都道府県の名前と位置クイズが掲載されており、児童が意欲的に学習できるように工夫されている。 </p> <p> <地図・資料の特徴> ○京都府や奈良県、東京都は5万分の1の詳細な地図を用意するなど事前学習に活用することができ、分かりやすい作りとなっている。また主要な建物などがイラストとして紹介され、児童が楽しみながら理解しやすい地図帳となっている。各地方の地図のページのなかにも、「国際化が進む福岡市」「広島市の様子」「洪水への備え」など、学習内容に直結する地図がクローズアップされて取り上げられている。資料においては、自然や産業の様子その他、日本で起きた過去の災害や災害を防ぐ工夫など、防災・減災への理解を深める事例を数多く掲載している。 </p>	
資 料	<p>○産業記号の他、文化・歴史の記号として世界文化遺産、環境の記号として世界自然遺産、世界ジオパークやラムサール条約の登録地、貴重な動植物など、個別の記号を設けている。</p> <p>○資料活用能力を高める機能として、タブレットパソコンなどで読み込める二次元コードを設置し、クイズや地図、統計などの様々なコンテンツで学習を深めることができる。</p> <p>○外国語、国語、算数、理科、音楽など、社会科だけでなく、他教科での学習に活用できる。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○重要な地名、語句は大きくしたり、縁取りをしたりして記載されており、読みやすい地図帳である。見開きが多く、児童が調べ学習を行うのに最適である。</p> <p>○標高による色の違いが鮮明に表現されている。特に、山地・山脈の高低差や山の尾根の形がより立体的に表現されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、大きく、すっきりとして読みやすいデザインである。</p>	
総 括	<p>○地図の色遣いが鮮やかで、山地の影の部分や間に生えている木の表現等も細かく、視覚的にも親しみやすい地図になっている。また、イラストが数多く掲載されていたり、「地図マスターへの道」のコーナーが随所に設けられていたり、児童が興味をもち主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。冒頭12ページを割いて掲載されている「地図のやくそく」「地図帳の使い方」についての説明が丁寧で、地図に関する基礎・基本を身に付けることができる。</p>	